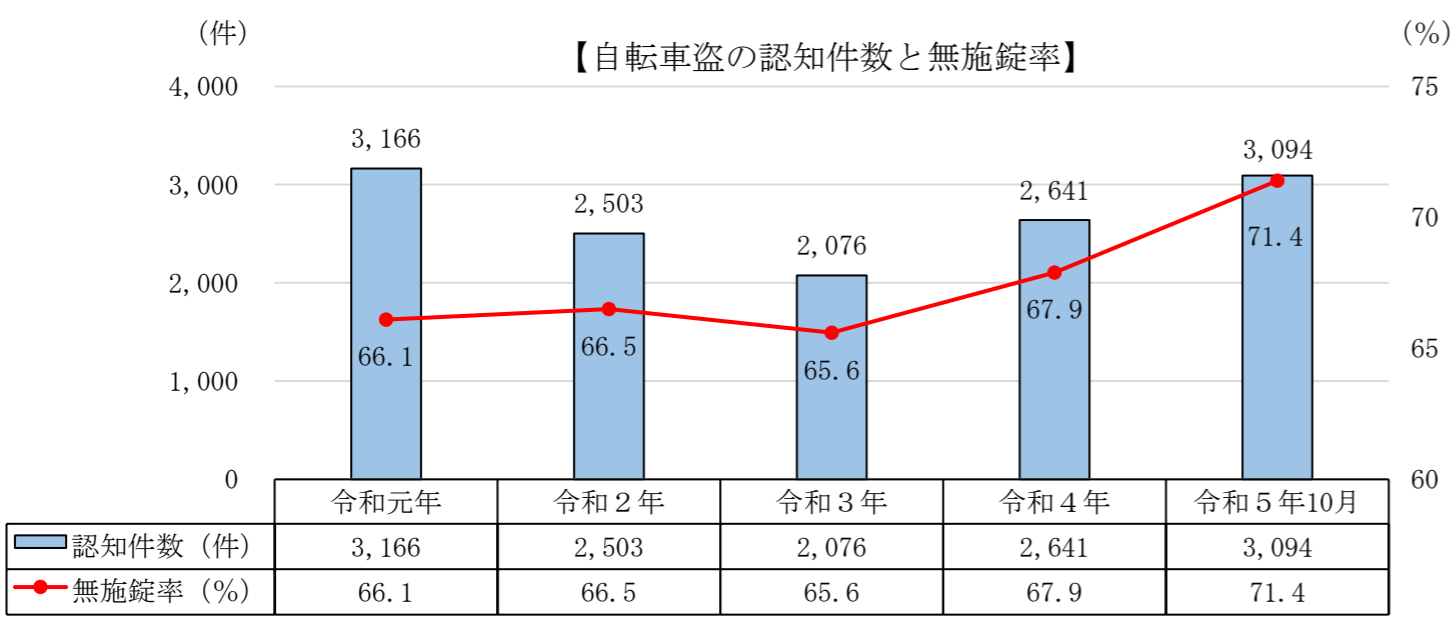
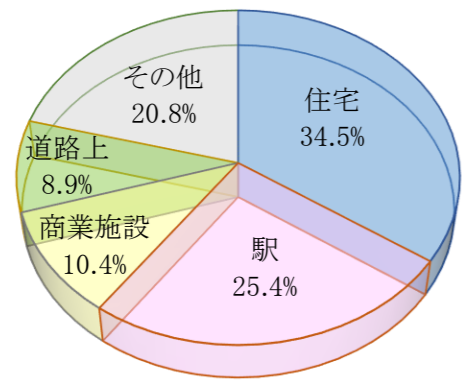


自転車盗発生状況等について（令和5年10月末現在）

1 自転車盗の発生状況（令和元年～令和5年10月末）

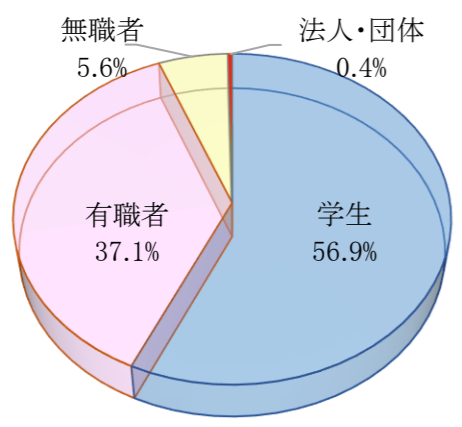


2 被害場所



被害場所	認知件数 (件)
住宅	1,068
駅	786
商業施設	321
道路上	274
その他	645
合計	3,094

3 被害者の職業



被害者の職業	認知件数 (件)
※学生	1,761
有職者	1,148
無職者	174
法人・団体	11
合計	3,094

※ 学生は、小学生、中学生、高校生、大学生、専修学校生等

4 警察の取組

- (1) 駐輪場管理者と連携した自転車盗の発生しにくい環境づくりの推進
 - 自転車盗への注意を呼びかけるプレート、横断幕等の設置
 - 管理者、防犯ボランティアと連携した定期的な巡回と駐輪場の環境・防犯指導の実施



- (2) 若年層に対する施錠意識向上施策の推進
 - 学校と協働した防犯指導
正門におけるチラシ配布、校内放送による確実な施錠の呼びかけ



- Instagram（インスタグラム）広告を活用した施錠広報
県内居住の13歳～22歳の男女にターゲットを絞った※広告の配信

【※広告イメージ】

広告をタップ
→
ホームページに移動